

事業概要書（運営協議会提出資料）

1. 法人について

法人名：スリーエス株式会社

所在地：東京都千代田区飯田橋三丁目 1 番 8 号 黒崎ビル 201

代表者氏名：千田桂太郎

担当者氏名：築地貴文

現在行っている事業

介護関係：定期巡回・随時対応型訪問介護看護の運営（板橋区・江東区・杉並区）

夜間対応型訪問介護を江東区、板橋区で実施

※ 板橋区には板橋北・南という 2 つの事業所があり、板橋南で実施

介護関係以外：ソフトウェア開発/販売（PORTALL）

2. 計画概要

事業所名：アウケアホーム杉並・夜間対応

事業所の所在地（予定地）：東京都杉並区阿佐谷北五丁目 1 番 5 号 RIC0102

サービスの種類：夜間対応型訪問介護

（定期巡回・随時対応型訪問介護看護は令和 6 年 11 月から実施中）

単位数：基本夜間型訪問介護費 989 単位（1 月につき）

定期巡回サービス費 372 単位（1 月につき）

随時訪問サービス費（Ⅰ）567 単位（1 回につき）

随時訪問サービス費（Ⅱ）764 単位（1 回につき）

土地・建物の面積（敷地）（延べ床面積）：60.2 平米

開設予定年月日：令和 7 年 4 月 1 日

3. 職員体制及び研修計画

管理者 1 人、オペレーター兼訪問介護員 9 人（全員定期巡回・随時対応型訪問介護看護と兼務）

採用時研修：160 時間（1 か月間の OJT（20 日×8 時間））

年次研修：月 1 回の法定研修（全従業員対象）

研修内容：定期巡回同様の研修（令和 6 年 11 月開設）

- ◇ ターミナルケアに関する研修（11 月）
- ◇ 接遇に関する研修（12 月）
- ◇ 医療に関する教育、研修（1 月）
- ◇ 事故発生又は再発防止に関する研修（2 月）
- ◇ 介護予防及び要介護度進行予防に関する研修（3 月）
- ◇ 倫理及び法令遵守に関する研修（4 月予定）
- ◇ 認知症及び認知症ケアに関する研修（5 月予定）
- ◇ 感染症・食中毒に関する研修（6 月予定）
- ◇ 介護現場で気をつけたいプライバシー保護研修（7 月予定）
- ◇ 緊急時の対応に関する研修（8 月予定）
- ◇ 感染症及び災害に係る業務継続計画のための研修（9 月予定）
- ◇ 身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修（10 月予定）

4. サービス提供計画 ※日課等

定期訪問：排泄介助、服薬確認、食事の配下膳、水分補給清拭、掃除、洗濯、足浴、軟膏塗布、シップ塗布など

随時対応：緊急時（転倒時、座り込みの救助など）

5. 資金計画 ※ 資金の調達方法及び調達金額の概要

自己資金 17,000,000 円程度を想定

資金内訳：初期事業所運営費用 3,000,000 円～3,500,000 円（5～6 か月にて試算）

6. 収支計画及び利用者見込み数

夜間対応のみ

令和7年	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入（円）	0	0	100,000	200,000	300,000	400,000
支出（円）	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
損益（円）	▲600,000	▲600,000	▲500,000	▲400,000	▲300,000	▲200,000
利用者 （新規登録者数）	5人	5人	5人	5人	5人	5人
利用者 （延べ登録者数）	5人	10人	15人	20人	25人	30人
令和7年	10月	11月	12月			
収入（円）	500,000	600,000	700,000			
支出（円）	600,000	600,000	600,000			
損益（円）	▲100,000	0	100,000			
利用者 （新規登録者数）	5人	0人	0人			
利用者 （延べ登録者数）	35人	35人	35人			

※ 支出は夜間対応にかかるスタッフ人件費（1日/1名）20,000円*30日=600,000円にて概算

※ 収入は夜間対応1か月にかかる料金約¥20,000*利用者数で概算

7. 運営理念・運営方針

- ・理念：どんな人でも自分の人生を決められる社会
- ・長期目標：定期巡回/夜間対応型訪問介護を通じ、すべての人に在宅生活の選択肢を提供

弊社は当初、特別養護老人ホーム向けの情報発信支援事業から、事業を開始しています。良い介護を志す施設と、同じ志を持つ介護職との出会いを作り、ご利用者の方に安心して生活を届けるためです。その中で、ご利用者の「家に帰りたい」「家で過ごしたい」という声を多く耳にし、在宅分野に目を向けるようになりました。

令和6年11月から定期巡回の事業を開始し、地域の介護に携わる方々と連携をしてきました。中でも夜間の不安というものは大きく、夜だけ何かあった時に来てほしいとの声も多く寄せられていました。そのため、今回夜間対応型訪問介護事業を開始することで、地域の方のお力になることができると考えております。